

「酒」を通して、ウクライナ人道支援の輪を広げる 楯野川 純米大吟醸 クリスタル PRAY FOR UKRAINE

5月13日より期間限定販売

—山形県内の一部スーパー・量販店、全国の楯野川特約店及びオンラインショップにて販売—

楯の川酒造株式会社(本社:山形県酒田市、代表取締役:佐藤淳平、以下「楯の川酒造」)は、「楯野川 純米大吟醸 クリスタル PRAY FOR UKRAINE」を、5月16日の平和に共存する国際デーに先駆け、5月13日～6月10日の期間限定で販売いたします。

本商品の売上の一部を、特定非営利活動法人国連UNHCR協会(以下、「国連UNHCR協会」)を通し、「UNHCR(国連難民高等弁務官事務所) ウクライナ緊急支援」に寄付いたします。



楯の川酒造が、いまできること
「酒」を通した支援の輪を広げます



■故郷から避難を余儀なくされている、ウクライナの人々に支援を

紛争の長期化は、ウクライナの多くの人々に影響を及ぼし、住み慣れた土地から離れざるを得なかった避難者が日々増加しています。子どもや民間人を含めた多くの犠牲者が出ており、2022年4月現在、ウクライナの人口のおよそ4分の1、約1200万人が安全を求めてウクライナ国内外で避難を強いられている他、ウクライナ国内で被害を受けている地域には少なくとも1300万人が取り残されています。

(参照: <https://www.japanforunhcr.org/campaign/ukraine>)

■私たちがいま、できること / 「酒」を通した支援の輪を全国へ広げたい

4月上旬より楯の川酒造の姉妹蔵である奥羽自慢にて、ウクライナで危機に瀕する子どもたちを支援すべく「HOCCAシードルウクライナ支援ver」を販売いたしました。(参考: https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000040_000071925.html)

「ウクライナ情勢悪化に対し少しでも力になりたい」という思いを持つ皆様に支えられ、用意した1000本の大半は早期に完売することができました。そこで、規模の小さい奥羽自慢だけの支援にとどまらず、全国に特約店を持つ楯の川酒造においても、人道支援に向けて行動を起こすことで、「酒」を通した支援の輪を山形県だけでなく全国へと広げたいと考えました。

5月16日は、平和に共存する国際デーです。第二次世界大戦の惨劇から次の世代を救うために2017年12月の国連総会で制定された「平和・寛容・理解・連帯を促進するための日」です。私たちはそれに先駆けまして、5月13日より約1か月「楯野川 純米大吟醸 クリスタル PRAY FOR UKRAINE」を販売いたします。本商品の売上金額の一部を、広報・募金活動を行う日本の公式支援窓口である国連UNHCR協会を通し、「UNHCR(国連難民高等弁務官事務所) ウクライナ緊急支援」に寄付いたします。この支援金は、ウクライナ及びヨーロッパ地域での救援活動に充当される予定です。

被害に遭われた方々や、心を痛めている全ての皆様へ心よりお見舞いを申し上げますとともに、ウクライナの方々に1日でも早く、平和な日々が訪れますよう、お祈り申し上げます。

・楯の川酒造 本企画担当者よりコメント

弊社は、山形県にある酒蔵です。東日本大震災の際は被災を受けた蔵に世界中から多くの支援が集まり、助けていただいたことを今も記憶しています。

「山形から全国へ支援の輪を広げよう!」「一日でも早く平和が訪れますように。」

